

「人権かるた作成と人権かるた大会の実施」

～楽しみながら人権を学ぶ～

安城市人権教育推進実行委員会

1



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

安城市の紹介

「日本デンマーク」と呼ばれるほど農業先進都市として発展

自動車関連企業をはじめとする大企業の進出等により、都市化も進み、19万人ほどの、農・工・商業のバランスのとれたまち



マスコットキャラクター
「サルビー」



キャッチフレーズ

「安城こどもBOOSTERS」

こどもたちを、いちばん応援するまちへ



令和6年度 愛知人権教育推進のための調査研究委託事業

安城市人権教育推進実行委員会

実行委員会の構成 計 12 名

- ・ 安城市教育委員会生涯学習課 課長
- ・ 安城市教育委員会生涯学習課 課長補佐
- ・ 安城市教育委員会生涯学習課 主査（担当）
- ・ 市民生活部市民安全課相談係 係長
- ・ 人権擁護委員 8 名



事業企画

「人権かるたの作成と人権かるた大会の実施」

選定理由

- ・ 最近はSNS等による誹謗中傷等が社会問題になっている。
- ・ 要因は様々あると思われるが、人の痛みに対しての想像力が弱くなっているのではないかな。



改めて大人も子どもも「人を思いやる心」を育む必要がある。



家族向けに楽しく人権意識の高揚を図ることを目的とした。



事業の経過

（１）実行委員会の開催（３回）

- 事業計画の立案
- 啓発物品の選定
- 事業報告

（２）人権かるた作成イベントの実施（３回）

①安祥文化のさとまつり（１回）

②デンパークで「安城の日」（２回）

（３）人権講話と人権かるた大会の実施（１回）

安城北部第２児童クラブ



人権かるた作成のイベント



活動の実際

人権かるた作成イベント（全3回）

《目的》

人権かるたの作成を通して、家庭で人権について考える契機とする

《内容》

- ・ 人権擁護委員による人権啓発・学習ブースを設置し、必要に応じて人権について学べるようにした。
- ・ 参加者はワークシートを記入した。
- ・ アンケート提出者にカプセルトイ（ガチャガチャ）を利用して、人権マスコットキャラクターのキーチェーンを配布した。
- ・ 生涯学習課作成のトートバッグも配布した。

人権啓発・学習ブース

人権のパネルを設置



人権啓発作品を展示
(習字・ポスター)



第1回イベント



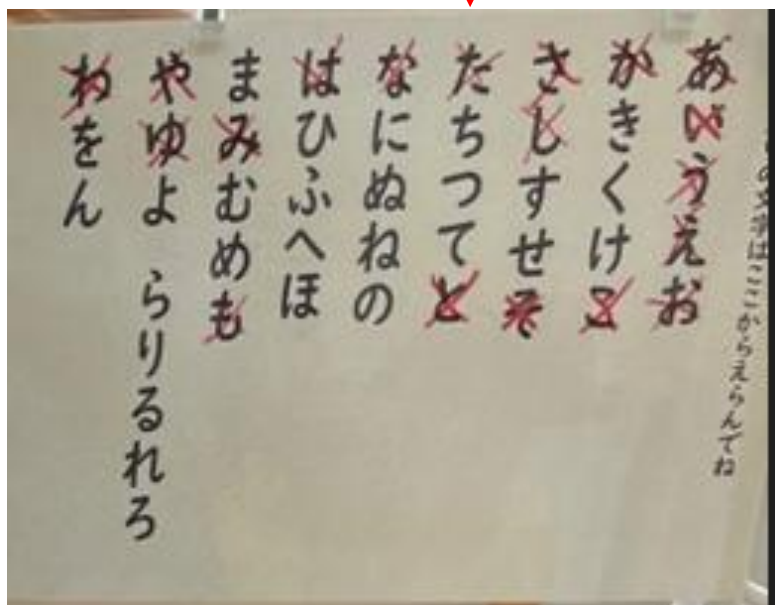
第2・3回イベント



かるたの見本

読み札文章例

使用できる文字は
この表で確認
使用済は赤×



作成されたワークシートの一例

【ワークシート】

人権(じんけん)かるた ワークシート

5・7・5で標語(読み札の文)をつくってみよう♪

ちょっと字が多くても、少なくてもだいじょうぶ！レッツトライ!!

れい:「あ」でつくる
あんしんだ
みんなだいすき
ともだちだ



あ でつくる

ありがとう

笑顔で伝える

あたたかさ

読み札を作る。
最初の文字を決めて、
5・7・5で文章を
作る。

なぜ、その標語(読み札の文)にしたのかな？

「ありがとう」が あふれる 世界になって
ほしい。

この文章を作成した
理由

あなたは、何年生ですか？ れい:小学3年生 中学1年生

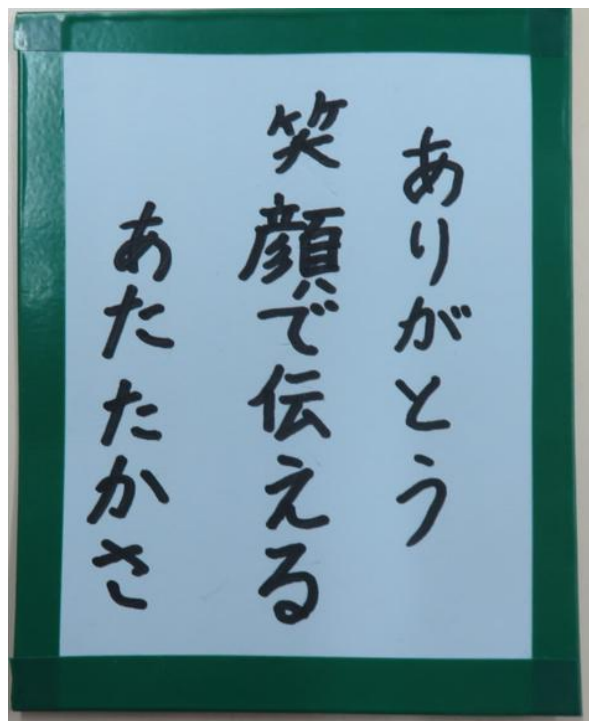
小学5年生

参加者の年齢

作成されたかるたの一例



読み札



絵札

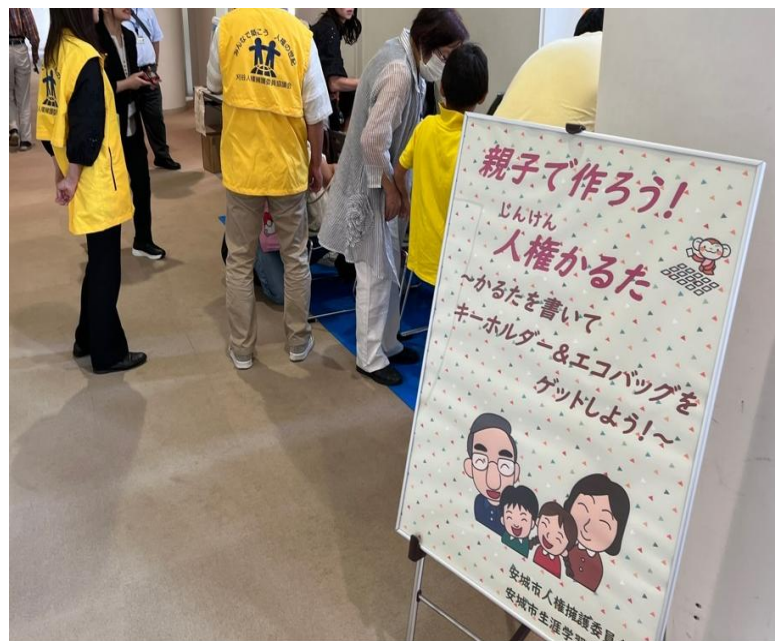


第1回人権かるた作成イベントの様子

安祥文化のさとまつり

令和6年10月6日(日) 午前10～12時

参加人数:22人



第2・3回人権かるた作成イベントの様子

デンパーク「安城の日」

令和6年10月19日(土)、20日(日)

午前9時30分～午後5時

参加人数:79人

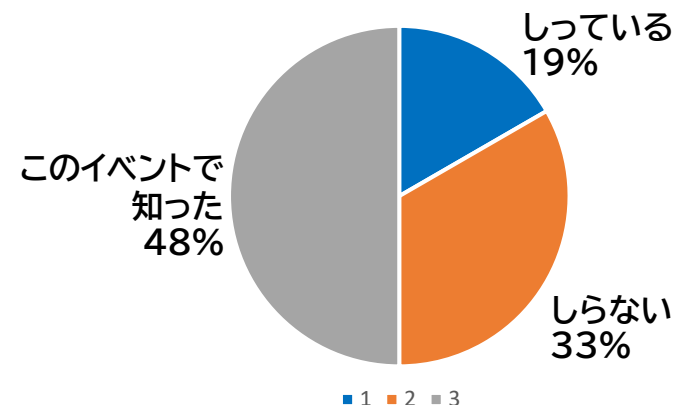


参加者のアンケート結果



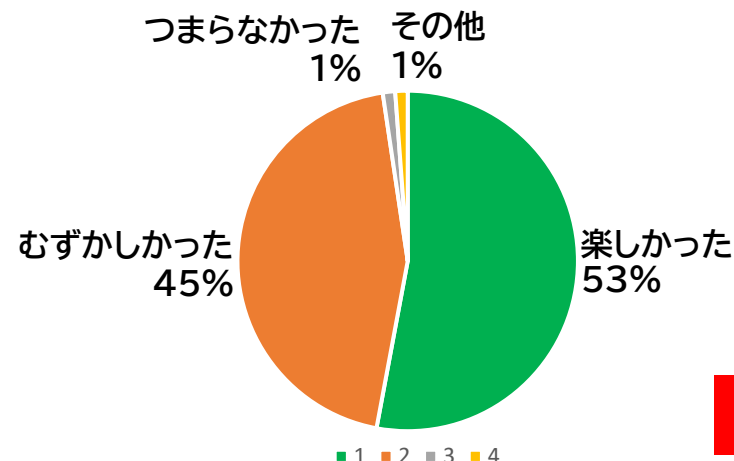
Q1 人権擁護委員を知っていますか

回答	件数	割合
1. 知っている	16	19%
2. しらない	28	33%
3. このイベントで知った	41	48%
総計	85	100%



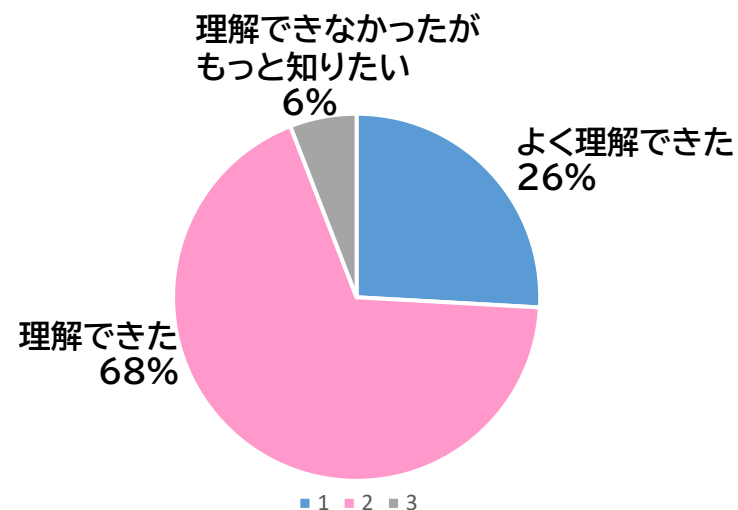
Q2 人権カルタをつくってみてどうでしたか

回答	件数	割合
1. 楽しかった	45	53%
2. むずかしかった	38	45%
3. つまらなかった	1	1%
4. その他	1	1%
総計	85	100%



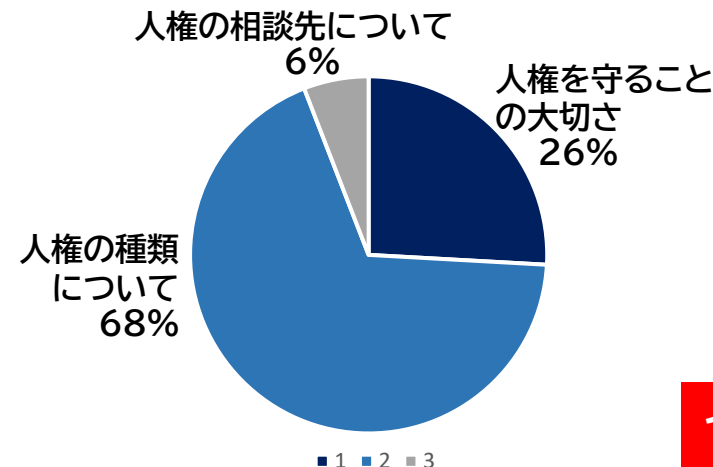
Q3 人権について理解できましたか

回答	件数	割合
1. よく理解できた	22	26%
2. 理解できた	58	68%
3. 理解できなかったが もっと知りたい	5	6%
総計	85	100%



Q4 今回のイベントで学んだことは、何ですか

回答	件数	割合
1. 人権を守ることの大切さ	22	26%
2. 人権の種類について	58	68%
3. 人権の相談先について	5	6%
総計	85	100%



Q5 今回のイベントに参加して、ご意見などあればお願いします。

◆自由意見 抜粋(表現は記入どおりに表記)

(大人の意見)

- ・子供ががんばって書けました。
- ・改めて人権について考える良い機会になったと思います。
- ・普段あまり気にしてなかったのも…いい機会になりました。
- ・子どもと一緒に学べて、よかったです。
- ・参加型のイベントはとても共感できます。
- ・家族で楽しませて頂きました。

(子どもの意見)

- ・楽しかったです! どきどきした。
- ・おもしろかった またやりたいです。
- ・すごく人権の大切さを楽しくまなべてよかったです!
- ・いいきかいで知ることができました。ありがとうございました。



かるた作成イベント全3回の成果



人権かるた作成イベントの成果

- ① 読み札、絵札のセットが2セット完成した。
- ② 参加者は親子だけでなく、大人だけや外国籍の方など多種多様

読み札とその文章にした理由についての一例

- ・ りかいする まわりの人 きもちをね (小学2年生と父)
【理由】まわりの方のきもちを考え自分中心に生きていかない
- ・ おもいやり あいてのきもち かんがえよう (小学2年生)
【理由】おもいやりをたいせつにしたい
- ・ ありがとう 笑顔で伝える あたたかさ(小学5年生)
【理由】「ありがとう」があふれる世界になってほしい

人権講話と人権かるた大会の実施



人権講話及び人権かるた大会

《目的》

人権講話及び人権かるたの利用を通して、児童に人権の理解を深めてもらう

《内容》

●講話

①日時：令和6年12月26日（木）

午後1時30分～午後3時30分

②場所：安城北部第2児童クラブ

③対象：児童クラブ利用児童 24人

※インフルエンザ等により人数減少

④運営：人権擁護委員8名、市民安全課職員、生涯学習課職員、児童クラブ職員3名



人権講話及び人権かるた大会

《方法》

人権擁護委員1名が講話20分程度を実施

●かるた大会

講話終了後に実施

※①～④講話と同じ

《方法》

- ・イベントで作成かるたで「かるた大会」
- ・大会形式で実施することで競技感をだし盛り上げ
- ・上位2名は、人権マスコットキャラクターのキーチェーンを配布
- ・他の参加児童に人権啓発物品を配布

人権かるた大会の様子



黄色の服が人権擁護委員



児童クラブ職員

事業全体を通しての成果と課題



全体を通しての成果

- ・生涯学習課＋人権擁護委員会＋児童クラブが協力することで全体のイベントの幅が広がった。
- ・幅広い層の参加があり、楽しみながら人権を学習する機会を提供できた。
- ・参加型の人権学習は楽しみながら学ぶことができることがわかった。
- ・人権は全ての人の関心事であることがわかった。



今後の課題

人権は全ての人の関心事である



意識をしないと
「人を思いやる気持ち」は
いつの間にか忘れる。



今後も様々な形で人権学習の機会を提供していく必要がある。





ご清聴ありがとうございました

